

教科(科目)	数学（数学Ⅰ）	単位数	3単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	数研出版『最新 数学Ⅰ』				
副教材等	数研出版『新課程 3ROUND 数学Ⅰ+A』				

1 グラデュエーション及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①本校の特色及び取組を生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善により基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進します。</p> <p>②規律ある学校生活の中で基本的な生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図ります。</p> <p>③生徒一人一人の良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図ります。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>総合学科の本校では多様な科目開設という特徴を生かした教育活動を展開し、「産業社会と人間」を基本として3年間を見通したキャリア教育を充実させます。また、地域と連携した実習や就労体験等、地域の教育資源を活用して教養、人間性及び社会性を育てます。</p> <p>①多様な進路希望に対応する選択科目を設け、資質、能力の育成に相乗的であるように教科等横断的な視点に立った指導であること。</p> <p>②学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。</p> <p>③ICTの活用も含め、生徒個々が自身の進路希望を意識した学習態度の早期醸成と高揚につなげられるものであること。</p> <p>④学校設定科目「キャリア実習」をはじめ、科目の設定にあたり地域産業、地域の人材を生かした授業展開ができること。</p>

2 学習目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>① 基本的な式の計算、グラフの書き方、図形問題を扱い、高校3年間の基礎の習得を目指します。</p> <p>② 基礎の習得のために反復練習を行うなど粘り強く学習に取り組む態度を育てます。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返り替えて考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身に付けている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査、課題テストの評点 ・ 授業中の取組 ・ 授業ノートやプリント、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査、課題テストの評点 ・ 授業中の取組 ・ 授業ノートやプリント、提出物などの内容の確認 ・ 振り返りの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の取組 ・ 授業ノートやプリント、提出物などの内容の確認 ・ 振り返りの記述の分析 などから、評価します。
	各観点を「A：十分満足できる」「B：おおむね満足できる」「C：努力をようする」で評価します。		

6 学習計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	時数	評価方法
4	1章 数と式 1節 数と式	<ul style="list-style-type: none"> 乗法公式や因数分解の公式の理解を深め、目的に応じて適切に変形する。 課題解決の際に既習の計算方法と関連付けて、式を多面的に捉える。 式の一部を1つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって式の展開や因数分解ができる。 	8	<ul style="list-style-type: none"> 第1回定期考査 ノート・プリント(記述の確認) 授業の様子(行動の確認)
5	2節 実数	<ul style="list-style-type: none"> 実数の分類と分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。 根号を含む式の四則計算を行う。 	8	
6	3節 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求める。 不等式の性質を基に1次不等式を問題解決に活用する。 	12	<ul style="list-style-type: none"> 第2回定期考査 ノート・プリント(記述の点検)
7	2章 集合と論証	<ul style="list-style-type: none"> 集合と論証の基本的な概念を理解する。 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する。 	13	
8	3章 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解し、最大値や最小値を求める。 2次方程式の解と2次関数のグラフの関係について理解し、グラフを用いて2次不等式の解を求める。 2つの数量の関係に着目し、日常や社会の事象を数学的に捉えて2次関数を活用する。 	24	<ul style="list-style-type: none"> 第3回定期考査 ノート・プリント(記述の点検) 授業の様子(行動の確認)
9	1節 2次関数とグラフ			
10	2節 2次方程式と2次不等式			
11	4章 図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比の意味と相互関係を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値の求める方法を理解する。 正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 公式を理解し、三角比を図形の計量や空間図形の計量の際に有効に活用することができる。 	26	<ul style="list-style-type: none"> 第4回定期考査 ノート・プリント(記述の点検) 授業の様子(行動の確認)
12	1節 三角比			
1	2節 正弦定理と余弦定理			
	課題学習	三角比を用いて、実際の高さを求める。	2	

2 ・ 3	5章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> 分散、標準偏差、散布図、相関係数の意味や使い方、具体的な事象における仮説検定の考え方を理解する。 データの散らばりや傾向を数値化する方法を考察し、適切な手法を用いて分析し、事象の特徴を表現する。 	12	<ul style="list-style-type: none"> 第5回定期考査 ノート・プリント (記述の点検)
-------------	-----------	--	----	---

計 105 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- 長期休業中の課題は別途指示します。(課題プリント等)

8 担当者からの一言

数学は積み重ねの結果がよく表れる教科です。教科書の1章の内容が2章、2章の内容が3章へと次々につながっていきます。もちろんその土台になっているのが小学校や中学校で学んだ内容です。一つひとつの内容を確実に理解し、活用する必要があります。

復習が重要になる科目です。その一助となるように副教材である「Hi-CATCH」や課題も積極的に取り組みましょう。この1年間は高校3年間の数学を左右するので、数学が苦手な人も粘り強く努力し力を伸ばしていきましょう！(担当:)